

美容技術の習得中心から 美しく生きる力を育む大学へ

山野美容芸術短期大学

YAMANO COLLEGE OF AESTHETICS

日本美容界の草分け山野愛子氏が開学した山野美容芸術短期大学。美容技術の習得から始まった教育は、自分も、他者も美しく豊かにする「美道」のもとに、美しく生きる力を育む教育へと大学改革をスタートさせている。

取材・文／今野雅晴

建学の精神「美道」で 美しく生きる力を育む

ネイティブの英語教員を前に、学生たちは「華道」について英語で説明し始めた。山野美容芸術短期大学（以下、山野短大）の国際美容コミュニケーション専攻の授業のひとつ。コマンド、笑い声が上がると、英語があふれる教室では、学生たちの笑顔と活気に包まれながら授業が進行していった。

副学長である木村康一教授は、山野短大が目指す教育について「英語によるコミュニケーションは本学が特に力を入れている分野のひとつ」と語る。

「『美道』という美しく生きる力を学ぶ本学にとって、日本の伝承美を海外に向けて発信できる能力を

身に付けることはとても大切なことだと考えています。現在私たちは、2020年度に向けて大きな大学改革と教育改革に取り組んでいます。それはこれからの社会のあり方を見据えて、どのような人材を育成していくかを再構築するのが目的です。国際教育はその大きな柱のひとつなのです」

日本の美容教育を 充実させてきた歴史と伝統

山野短大を設立し初代学長を務めたのは、日本の美容家の草分けである山野愛子氏。山野氏は美容に携わる人々の技術と地位の向上を目指して1934年（昭和9年）に山野美容講習所を設立した。山野氏らの尽力もあって、美容師の資格

は国家資格として整備され、養成は厚生労働大臣認定の養成校が担うようになるなど、その技術も地位も大きく向上した。そして1992年には、さらなる教育の充実を目指して山野短大を設立。当時は美容師養成専門学校の教育課程がまだ1年制だった時代。山野短大が切り拓いた、2年制の教育課程で幅広い教養と美容の技術を身に付けるカリキュラムは、その後2年制へと移行した専門学校との教育課程のモデルとして、多くの学校のお手本となっている。

ホスピタリティを考え 広めていく力を養う

山野短大が建学の精神として掲げているのは「美道」という考えだ。美道五大原則として記されているの

は外見の美にとどまらず内面的な美しさを大切にするという精神だ。木村副学長が語る山野短大の大学改革の基本も、この「美道」のもとに構想されている。

「本学の設立当初は山野の伝統に則って『美容技術』の習得を重要



産学連携による企業とのコラボレーションも活発に行っている。2018年度には国産オーガニックコスメを展開する企業と提携し、市場調査や商品開発、販売などに取り組んだ課題解決型授業（PBL）にも取り組んだ

自身も相手も豊かな生活へと導く「美しい生き方」ができる人を育てる



山野美容芸術短期大学
副学長
木村 康一 氏

文部科学省が発表している「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にもあるように、今私たちは「予測不可能な時代の到来」を経験しています。そんな未来に「美道」はとて大きな役割を發揮します。自分の豊かな生活だけでなく、自分が関わった他者も豊かな生活を送ることに貢献すること。そんな「美しい生き方」ができる人になるために、自ら考え、決断し、行動して振り返ることができる人材を育てる教育を充実させていくことが、これからの山野短大が目指す姿です。



2019年度からNIC International College in Japanと提携し、これまで以上に英語でのコミュニケーション力を高めようという取り組みが始まっている。「海外の大学への編入・留学という道が、一層身近なものとして開かれることにつながります」(木村副学長)

視していました。その後社会が成熟し専門学校の教育も充実していくなかで、私たちは高等教育機関としての山野短大のあるべき姿を見直していきながら、これまでも少しずつ『技術の習得』から『考える力の育成』へと教育の方向を変えてきました。そして今、2020年度に向けた大きな大学改革にあたって決意を新たにしているのは、私たちの原点は『美道』にあるということ。なかでも『健康美』『精神美』という内面的な美を大切にする精神こそがその柱であるということです。山野短大が目指そうとしているのは、精神美、健康美を大切にするとホスピタリティであり、それを考える力、広めて

Information

山野美容芸術短期大学



1992年に日本の美容家の草分けである山野愛子氏によって美容、福祉に貢献する人材の育成を目指して開学。心身の美と健康は生活の基本であるという「美道」の考えのもと、美容を通じてQOL(Quality of Life)の向上を目指している。現在は美容デザイン専攻、エステティック専攻、国際美容コミュニケーション専攻という3つの専攻をもち、美を総合的に学び、幅広い教養を身に付け、社会で活躍する人材を育てている。

● DATA

〒192-0396 東京都八王子市鎌水530
TEL 042-677-0111 (入試・広報センター)
URL <https://www.yamano.ac.jp/>

美を中心とした新しい価値を生み出せる人材の育成

いく力を養うこと。専門的な技術を身に付けることはそのための手段のひとつです」と、木村副学長は語る。

山野短大の大学改革・教育改革は、まさに現在進行形で進められている。例えば冒頭に紹介した英語教育は、2019年度から海外大学への留学に強、NIC International College in Japanと提携し、より実践的でアカデミックな英語カリキュラムへと移行している。また、これまでさまざまな企業とコラボレーションして進めてきた課題解決型授業

(PBL)もより一層強化されるなど、学生たちが考え、工夫し、チャレンジできるような授業は大幅に増加している。

「私たちの役割は在学期間中に教育を完成させることではありません。一人ひとりがその先の人生を生きていくうえで必要な考え方やベロースとなる能力を身に付けることが大切なことです。山野短大のコアは美道です。それは日本人が大切にしている美の根底にある『心の美』というものを理解し、伝えていくということ。混沌としている時代にもかかわらず、美を中心とした新しい価値を見いだせる人を育てる。それが新しい山野短大の姿です」